

13 グループ

講演をうけての感想 <small>かがわす</small> 目的にみる	苫小牧市の現状はどうか	孤立を防ぐために 現在実践していること	孤立を防ぐための 課題は何か	課題を 解決していくための方策	「やさしい街づくり」のため 自分では何が出来るのか
<ul style="list-style-type: none"> ・アプローチの違い ・自分のしてほしい事と相手のしてほしい事の違い。共に行き場。 ・民生員の限界。<small>色んなやりかたの事例があった。</small> ・近所の目からの察知。 ・近所のとんちんかんなおもしろい話。 ・な、とくで話をして高齢者についてわかりやすかった。 ・民生員として金額がかかる事におどろいた。 ・マルチの配達員と仲良くなる。DS 等へ通い ・支援している立場とにむかひしい現実があった ・サービス利用と、地域資源の少なさあり提供できないものもある。 ・サービス拒否による孤立 	<p>事例</p> <p>今までのことと人に比べてに合った</p>	<p>←</p> <p>←</p> <p>←</p> <p>下</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・民生員 → 包括への相談 ・包括でいまいま生活等相談室。 ・参加してもらおう ・認知症カフェの利用<small>情報はある</small> ・老人クラブへの参加 ・老人クラブ等へ参加し、課題のない人への対応 ・気軽に参加できる物を増やしていく。 ・孤立化を防ぐために一人暮らし = 孤立とは異なる人間らしい生活。人との関わり ・役割りを大切にシフト年任いを受け入れる ・自分の中にかかえ込む 	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人との関わりをもつ ・高齢者だけではない ・社会全体として ・社会資源の活用。 ・孤立は高齢者だけではないお互い様 ・近所アツい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・助けると言える ・人に迷惑をかけるもしい自分の事は自分で済ませる